

2013年度
世 界 史
(問 題)

〈 H25070018 〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。また、解答用紙のその他の部分には何も書かないこと。
4. 解答用紙の受験番号をよく確認すること。
5. 氏名は、試験開始後、解答用紙の所定欄に正確にでいねいに記入すること。
6. マーク欄ははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムででいねいに、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

古代ギリシアで最初に哲学が誕生したのは、小アジアのイオニア地方のギリシア植民都市においてであった。前6世紀初め頃から現れた自然哲学者たちは、因襲にとらわれない合理的思考によって自然の秩序を探求し、宇宙の万物の根源を明らかにしようとした。

前5世紀にアテネがポリス社会としての全盛期を迎えると、哲学の関心は自然よりも人間に向けられるようになり、ソフィストと呼ばれる知識人が活躍した。後にギリシアの三大哲学者とされるソクラテス、プラトン、アリストテレスが出たのは、ペロポネソス戦争をへてアテネのポリス社会が衰退に向かう時代であった。

アレクサンドロス大王の東方遠征以降のヘレニズム時代には、ポリスを超えて世界的なものへと向かうコスモポリタニズムの思潮が広まった。また、アレクサンドリアで設立された学術施設ムセイオンを中心に、自然科学の分野でも多くの業績が生まれた。

こうしたギリシア文化の知的遺産は、直接中世のヨーロッパに継承されたわけではない。ギリシア文化は、まずギリシア語を公用語としたビザンツ世界によって保存され、さらにイスラーム世界によって受け継がれたのである。

イスラーム世界では、9世紀前半に「知恵の館」(バイト＝アルヒクマ)と呼ばれる学術施設が建設され、ギリシア語やペルシア語文献の収集とアラビア語への翻訳が組織的に行われた。このような翻訳の時代をへて、イスラーム世界では、哲学、論理学、天文学、医学、数学などの「外来の学問」が盛んとなり、10世紀から11世紀にはイスラーム支配下の諸都市でイスラームの学問が大きく発展した。

ヨーロッパ世界は、11世紀末に開始された十字軍の遠征によって、イスラーム文化やビザンツ文化と触れることとなり、これらの文化を経由して、ギリシア文化の知的遺産を吸収していった。また、レコンキスタが進むイベリア半島やノルマン人がイスラーム教徒支配を打倒したシチリアで、ヨーロッパ人のイスラーム文化との接触が本格化した。トレドやパレルモは、11世紀後半頃からヨーロッパ人によるイスラーム文化吸収の中心地となり、アラビア語文献やギリシア語原典からラテン語への翻訳が盛んに行われるようになった。

イスラーム文化に保存されていた古代ギリシアの古典の「再発見」に加えて、イスラーム世界で独自に発展させられた学問に学ぶことで、ヨーロッパにおける哲学、科学の復興がもたらされた。とくに、アリストテレスの哲学はイスラーム世界で熱心に研究され、後にトマス＝アクィナスによって大成されたスコラ哲学に大きな影響を与えた。また、アラビア数字による計算法や代数学、錬金術から発展した化学的な実験方法など、イスラーム科学の成果はヨーロッパ近代科学の基礎を与えることになった。

問1 下線部(A)について、次の記述のうち適切なものを2つ選べ。

- a. イオニア式建築様式は柱頭の優雅な渦巻き状の飾りを特徴とし、アテネのエレクトイオン神殿に代表される。
- b. 小アジアの王国メディアで始まった鑄造貨幣の使用は、イオニア諸都市を経由して、ギリシア本土にも広まった。
- c. アケメネス朝ペルシアに対するイオニア諸都市の反乱をアテネなどのポリスが援助したことがペルシア戦争のきっかけとなった。
- d. イオニア人は前20世紀頃に小アジア西部やギリシア本土に南下し、アテネやスパルタなどのポリスを建設した。
- e. イオニア地方には、ミレトス、キオス、ネアポリス、エフェソスなどの植民都市が建設された。

問2 下線部(B)について、自然哲学者についての記述のうち適切でないものを1つ選べ。

- a. デモクリトスは、等質不変の原子の結合・分離によって万物を説明できるとした。
- b. エンペドクレスは、変化と闘争を万物の根源と考え、火を変化の象徴とした。
- c. 哲学の祖といわれるタレスは、万物の根源は水であるとした。
- d. サモス島出身のピタゴラスは、万物の根源は数であるとした。
- e. アナクシマン드로スは、万物の根源は無限定なるものであるとした。

問3 下線部(C)について、アテネの政治史に関する記述のうち最も適切なものを1つ選べ。

- a. ペリクレスは20歳以上の男子市民で構成される民会を最高議決機関とし、抽選制で議員を選出する五百人評議会を設けるなどの改革を行った。
- b. ソロンは貴族と平民の調停者として負債を帳消しにして債務奴隷を禁止し、財産による等級制を廃止して平民に政治参加の権利を与えた。
- c. ペイシストラトスは、僭主として独裁的権力を握ったが、平民を支持基盤とし、農民に土地を分配して中小農民を保護・育成した。
- d. ドラコンは、従来からの貴族の慣習法を否定して、市民すべてに対する公正で厳格な裁判を運営するための法律を新たに制定した。
- e. クレイステネスは、従来からの血縁に基づく4部族制を発展させて住民の居住地区であるデーモスを設け、行政や軍事の単位とした。

問4 下線部(D)について、ソクラテス、プラトン、アリストテレスに関する記述のうち最も適切なものを1つ選べ。

- a. ソクラテスは、「無知の知」を自覚し、普遍的真理の存在を否定して、知識と徳を合一させることが大切だと説いた。
- b. プラトンは、哲学を学んだ少数の者が民衆を指導する哲人政治によって、民主政の理想を実現しようとした。
- c. ソクラテスは著作を残していないが、『対話篇』『アテナイ人の国制』『ソクラテスの弁明』などの弟子プラトンの著作でその思想を知ることができる。
- d. アリストテレスは、プラトンのイデア論を批判して現実から出発することを説き、また諸学の体系化をはかったことで「万学の祖」とも呼ばれている。
- e. アリストテレスはソクラテスが創設したアカデメイアで学び、後年自らもリュケイオンという学園をアテネ郊外に開いた。

問5 下線部(E)について、ヘレニズム時代の王国・王朝に関連する記述のうち、適切でないものを1つ選べ。

- a. セレウコス朝は小アジアからインダス川に至る広大な領土を支配したが、パルティア、ソグディアナ、バクトリアへの分裂とともに消滅した。
- b. アンティゴノス朝マケドニアはアレクサンドロス大王の武将が建てた王国であり、ギリシア地方を勢力下においた。
- c. アッタロス朝ベルガモン王国は小アジアに建てられた都市国家であり、アレクサンドリアとならぶヘレニズム文化の中心地であった。
- d. 西北インドで生まれたガンダーラ美術は、バクトリア王国のギリシア人が伝えたヘレニズム彫刻の手法の影響を受けている。
- e. ヘレニズム文化の中心地であったエジプトのプトレマイオス朝は、前30年の女王クレオパトラの死後に滅亡した。

問6 下線部(F)について、ヘレニズム時代の天文学者で、地球は自転しながら太陽の周囲を公転すると主張した人物はだれか。

- a. エラトステネス b. アリスタルコス c. プトレマイオス
- d. ヒッパルコス e. エウクレイデス

問7 下線部(G)について、9世紀前半に「知恵の館」が建設された都市はどこか。

- a. ダマスクス b. クーファ c. カイロ d. バグダード e. イエルサレム

問8 下線部 (H) について、十字軍に関連する記述のうち最も適切なものを1つ選べ。

- a. ローマ教皇インノケンティウス3世が提唱した第3回十字軍は、神聖ローマ皇帝、フランス王、イングランド王が参加し、西ヨーロッパ諸侯の総力をあげたものとなった。
- b. セルジューク朝の小アジア進出に脅威を感じたビザンツ皇帝ウルバヌス2世がヨーロッパ諸侯やローマ教皇に援軍を求めたことが、十字軍遠征のきっかけとなった。
- c. 第2回十字軍遠征後に、聖地に常駐してキリスト教徒の保護、聖地防衛などにあたる修道士騎士団としてテンプル騎士団とヨハネ騎士団が結成された。
- d. アイユーブ朝のサラディン (サラフ=アッディーン) は第3回十字軍との戦いの結果イェルサレムを奪還し、聖地のキリスト教徒に対して厳格な態度をとった。
- e. 第4回十字軍は、東地中海への商圈拡大を企てるヴェネツィア商人の意向にそって、ビザンツ帝国の首都コンスタンティノーブルを攻略し、ラテン帝国をたてた。

問9 下線部 (I) について、キリスト教勢力に敗れ、イベリア半島における最後のイスラーム王朝となったのはどれか。

- a. ガズナ朝 b. ナスル朝 c. プワイフ朝 d. ムワッヒド朝 e. ザンギー朝

問10 下線部 (J) について、アリストテレス哲学についての歴大な注釈を書いた人物はだれか。

- a. ファルガーニー b. イブン=ハズム c. イブン=ファドラーン
- d. ガザリー e. イブン=ルシュド

II 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

(A) 魏晋南北朝時代の分裂に終止符を打ち、中国を再統一したのは隋であった。隋の文帝は、新都として大興城を築き、開皇律令を制定した。これは、中国にとどまらず東アジアの法制度の整備に大きな影響を与えるものであった。隋は、華北と江南を結ぶ大運河を建設したが、3回の高句麗遠征に失敗するなどして、国力を落としていった。

隋末の混乱の中で、李淵 (高祖) が618年に唐王朝を建てた。太宗および高宗の時代に、唐はたびたびの大遠征により版図を広げていった。領域内辺境地域の服属した民族に対処するために、都護府を置いて、部族長の統治を監督・統括させる間接統治の方法をとった。東西の突厥、ウイグル、渤海、新羅、吐蕃、南詔などの近隣諸国との間には、冊封関係を結んだ。唐の都である長安は、周辺諸国から各国使節・留学生・商人らが集まる国際色豊かな都市であった。

唐は、隋の制度を概ね受け継ぎ、均田制・租庸調制・府兵制を骨格とした律令国家であった。7世紀末からしばらくの間、武韋の禍による政治的混乱があったが、これを鎮めた玄宗の下で、唐は全盛期を迎えた。しかし、このころにはすでに基本制度にもほころびが生じてきていた。安史の乱の期間に塩の専売制が導入され、780年には両税法が導入された。唐末には、地方では藩鎮が割拠し、中央では党派争いが絶えず、9世紀後半の (J) によって、唐は大きな打撃を受けた。

問1 下線部 (A) に関連し、魏晋南北朝時代に関する次の記述のうち適切でないものを2つ選べ。

- a. 後漢末の混乱の中で、曹操が魏を、劉備が蜀を、孫権が呉を建国し、帝位についた。
- b. 魏の将軍司馬炎は、帝位を奪って晋を建国し、蜀を滅ぼして中国を統一した。
- c. 五胡十六国の五胡とは、匈奴、鮮卑、羯、氐、羌を指すといわれている。
- d. 五世紀前半には、鮮卑の拓跋氏が建てた北魏の太武帝が、華北を統一した。
- e. 江南に拠った司馬睿は、晋王朝を復活し、建康を都と定めた。

問2 下線部（B）に関連し、隋に関する出来事を発生順に並べたとき、4番目に来るものを選び。

- a. 隋が策略により突厥を東西に分裂させた。
- b. 隋が南朝の陳を滅ぼした。
- c. 開皇律令が制定された。
- d. 大運河の工事が完成した。
- e. 楊堅が北周の静帝から禅譲されて帝位に就いた。

問3 下線部（C）に関連し、高句麗に関する次の記述のうち適切でないものを2つ選び。

- a. 高句麗は、紀元前1世紀ごろに中国の東北地方におこり、4世紀に楽浪郡を滅ぼして、朝鮮半島北部を支配した。
- b. 高句麗は、広開土王の時に、百済・新羅と連合して倭と戦って退けた。
- c. 高句麗は、隋の建国以来、朝貢を拒否し続けた。
- d. 高句麗は、唐と新羅によって7世紀後半に滅ぼされた。
- e. 滅ぼされた高句麗の遺民は、大祚榮に率いられて後に渤海とよばれる国を建てた。

問4 下線部（D）に関連し、中国の辺境民族、周辺民族およびその支配に関する次の記述のうち適切なものを2つ選び。

- a. 都護府を通じた間接統治政策を羈縻政策という。
- b. 安東都護府が置かれたハノイは南海交通の基地となった。
- c. 突厥は6世紀中頃にモンゴル高原から興り、匈奴を滅ぼして大遊牧帝国を築いた。
- d. 公主（皇女）の降嫁による姻戚関係も重要な意義を有していた。
- e. チベット高原には南詔が建国され、チベット仏教がおこった。

問5 下線部（E）に関連し、唐文化の国際色を伝えるものを、次の語句から2つ選び。

- a. 坤輿万国全図
- b. 唐三彩の意匠
- c. 五経正義
- d. 清談の流行
- e. 大秦景教流行中国碑

問6 下線部（F）に関連し、唐の律令制に関する次の記述のうち適切なものを2つ選び。

- a. 律令の施行細則を格といい、律令の変更・補充の規定を式という。
- b. 全国を道・州・県に編成し、中央には三省六部において行政を分担させた。
- c. 中書省が詔勅などの草案を作成し、尚書省がこれを審議し、門下省が執行した。
- d. 社会の変化に対応して、節度使などの令外の官が設けられた。
- e. 均田制の実施により、大土地所有制度が消滅した。

問7 下線部（G）に関連し、則天武后に関する次の記述のうち適切でないものを1つ選び。

- a. 則天武后は、病気の高宗を退位させて自ら帝位に就いた。
- b. 則天武后の皇帝即位により、国号が周と改められた。
- c. 則天武后は、中国史上唯一の女性皇帝である。
- d. 則天武后は、科挙官僚を積極的に登用した。
- e. 則天武后は、仏教を統治に利用し、諸州に大雲寺を設置した。

問8 下線部(H)に関連し、玄宗の治世に関する次の記述のうち適切でないものを2つ選べ。

- a. 玄宗の治世の前半は、貞観の治と称される。
- b. 府兵制が崩壊し、職業兵士を雇用する募兵制に移行した。
- c. 辺境防衛のために、節度使が設置されるようになった。
- d. タラス河畔の戦いで唐軍がアッバース朝の軍隊に大敗した。
- e. 安祿山と楊炎との対立から安史の乱が起こった。

問9 下線部(I)に関連し、兩税法に関する次の記述のうち適切でないものを2つ選べ。

- a. 逃戸農民が荘園に吸収されている現実への対応である。
- b. 課税の対象を土地から人に転換するものである。
- c. 貨幣経済の進展に対応して、錢納を原則とした。
- d. 春に1度課税された。
- e. 藩鎮の自立化による国庫収入の減少に対処するものである。

問10 空欄(J)に入る最も適切な語句はどれか。

- a. 紅巾の乱
- b. 太平天国の乱
- c. 黄巢の乱
- d. 八王の乱
- e. 黄巾の乱

Ⅲ 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示通りに解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

第一次産業革命の成果が広がった19世紀中頃から、世界は新しい編成に向かう。交通・通信の革新は世界の一体化を促進し、ヒト・モノ・カネの動きを加速した。ヨーロッパやアジアからのアメリカ合衆国への移民はその数を大幅に増すとともに、構成も変化した。^(A-1)第二次産業革命は新しいエネルギーや産業の分野を切り開き、世界経済の勢力図を塗り替えていった。^(A-2)科学と技術との結びつきが強まった第二次産業革命の時代には、質の高い労働力を提供できる初等教育の普及もまた、経済発展に貢献した。^(A-3)

資本主義はしだいに変質し、同一系列の資本が異種の企業にまたがって支配する **(B)** などの、さまざまな形の企業間の集中・合同が進んだ。国内経済の行き詰まりは、原材料、製品の市場、さらには余剰資本の投資先を求めて、列強諸国を世界各地での植民地獲得競争、世界の分割・再分割に向かわせることになった。

この帝国主義時代の競争には、以前から世界の各地に植民地や交易の拠点築いていた国々だけでなく、新興の工業国や、南下政策をとるロシアも加わっていく。19世紀まで奴隷の供給地として重要だったアフリカは、工業化の進展とともにヨーロッパ列強の新たな関心を引き付けた。スエズ運河の経営権を握ったイギリスはアフリカを縦断する植民地化を図り、西アフリカから東海岸にかけての横断政策をとるフランスと衝突した。^(C)さらにドイツやイタリアもアフリカに勢力基盤を築いた。これらヨーロッパ勢力の拡大は、現地の人々の強い抵抗にあいながら進められた。^(D)

西アジアではイギリスの3C政策とドイツの3B政策が対立していたし、すでにイギリスの機械製綿布の市場、綿花の供給地、あるいは中国へ輸出されるアヘンの栽培地に替えられていたインドは、1877年にはヴィクトリア女王が皇帝を兼ねるインド帝国に改組された。16世紀からヨーロッパ勢力の影響が及んでいた東南アジアでも、再分割・再編成が進行した。^(E)東南アジアや太平洋地域の分割にはアメリカ合衆国も加わった。フロンティアが消滅するにつれて、アメリカも帝国主義的な傾向をもつようになっていたが、米西戦争によって海外進出の足場を築くと、セオドア・ローズヴェルト大統領のもとでは **(G)** と呼ばれる積極的なカリブ海政策を追求した。東アジアの支配をめぐる争いには、ロシアや日本も加わった。1842年の南京条約と翌年の追加条約によってイギリスの要求に屈した中国では、欧米の列強が競って利権を求めた。^(H)朝鮮王朝末期の朝鮮の混乱に乗じて大陸への侵略を図った日本も、日清戦争の勝利の後には中国への進出を本格化させた。^(I)その結果、20世紀初めには、中国は日本を含む列強の利害によって事実上分割されることになった。^(J)こうした世界各地での列強の利害対立は、第一次大戦を生む背景となった。

問1 次の表(1)～(3)は下線部(A-1), (A-2), (A-3)に関するそれぞれの国・地域の統計数値である。三つの表の国・地域の組み合わせのうち、ドイツを示すのはどれか。

表(1) アメリカ合衆国への移民数(千人) 1870～1890年				
①	②	③	④	⑤
2676	1612	1481	1211	1015

表(2) 世界の工業生産に占める各国の割合(%) 1906～1910年			
㉞	㉟	㊱	㊲
35.3	15.9	14.7	6.4

表(3) 1900年頃の識字率(%)			
①	②	③	④
99.0	94.0	89.3	83.5

- a. ①-㉟-①
- b. ②-㊱-③
- c. ③-㉞-②
- d. ④-㊲-④
- e. ⑤-㊱-③

問2 空欄(B)に入るべき語句はどれか。

- a. トラスト
- b. コンツェルン
- c. コンメンダ
- d. カルテル
- e. シンジケート

問3 下線部(C)に関し、スエズ運河に関連する次の記述のうち、適切でないものを2つ選べ。

- a. スエズ運河は、フランス人レセップスが1858年に設立した国際スエズ運河会社により建設に着手された。
- b. エジプトの財政難に乗じて1875年、ディズレーリは国際スエズ運河会社の株式を大量に手に入れ、運河経営の実権を握った。
- c. エジプトの独立を認めた1936年のイギリス=エジプト同盟条約によって、イギリスはスエズ運河地帯駐屯権を失った。
- d. 非同盟主義を主張するナセル政権は、1956年にスエズ運河の国有化を宣言した。
- e. スエズ運河国有化に反対して、英仏およびイスラエルとエジプトの間に第1次中東戦争が勃発した。

問4 下線部(D)に関し、イタリアがエチオピアに侵入したときに起こった出来事は、次のどれか。

- a. サモリ=トゥーレの暴動
- b. ウラービーの反乱
- c. マジ=マジ反乱
- d. アドワの戦い
- e. マフディーの反乱

問5 下線部（E）に関し、イギリスとドイツの対外政策についての次の記述のうち、適切でないものを2つ選べ。

- a. ドイツはバグダード鉄道の敷設権をオスマン帝国から獲得し、中近東への進出を図った。
- b. ベルリン・イスタンブル・バグダードを結ぶドイツの3B政策は、黒海から地中海への進出を図るロシアの南下政策とも対立した。
- c. ケープ植民地のイギリス人支配をのがれたオランダ系のブール人は、ローデシアにトランスヴァール共和国を建設した。
- d. 他国と同盟関係を結ばない「光栄ある孤立」政策をとっていたイギリスも、極東におけるロシアの進出を恐れ、1902年に日本と同盟を結んだ。
- e. ヴィルヘルム2世は世界政策を掲げ、第一次モロッコ事件を引き起こすなど、三国同盟との対立を深めた。

問6 下線部（F）に関し、①～⑤の東南アジアの植民地化についての次の記述を、年代順に正しく並べたものはどれか。

- ① アチェ王国が滅ぼされ、オランダの植民地となった。
 - ② イギリスがコンバウン朝を倒しビルマをインド帝国に編入した。
 - ③ フランスがインドシナ連邦を形成し、総督府をハノイにおいた。
 - ④ フランスがユエ条約によりヴェトナムを保護国化した。
 - ⑤ アメリカ合衆国が米西戦争によりフィリピンを獲得した。
- a. ①-④-③-②-⑤
 - b. ②-④-①-⑤-③
 - c. ③-②-⑤-①-④
 - d. ④-②-③-⑤-①
 - e. ⑤-③-④-②-①

問7 空欄（G）に入るべき語句はどれか。

- a. 革新主義外交
- b. 善隣外交
- c. 棍棒外交
- d. 勢力均衡政策
- e. ドル外交

問8 下線部（H）に関し、適切な記述を2つ選べ。

- a. 南京条約によって、上海、寧波、福州、厦門、広州の開港が認められた。
- b. 南京条約によって、外国貿易を独占していた公行が廃止された。
- c. 南京条約によって割譲された香港に、イギリスは最初の租界を設置した。
- d. 五港通商章程で、片務的な最恵国待遇がイギリスに認められた。
- e. 虎門寨追加条約で、領事裁判権がイギリスに認められた。

問9 下線部（I）に関し、朝鮮についての次の記述のうち、適切でないものを2つ選べ。

- a. 1876年に日本との間に結ばれた日朝修好条規は、日本の領事裁判権を認めるなどの不平等条約だった。
- b. 大院君は開国政策を通じて国政の改革を図ったが、閔妃一派により失脚させられた。
- c. 日本の援助のもとに国内改革を進めようとする金玉均ら開化派は、1884年にクーデタを断行した。
- d. 東学を信奉する農民は、1894年に全琫準を指導者として、外国勢力の排除を目指す反乱をおこした。
- e. 漢城で1882年に、閔氏打倒と反清を掲げて軍人が蜂起した壬午軍乱がおこった。

問10 下線部（J）に関し、（ア）～（オ）の列強各国と①～⑤の租借、利権、勢力の及ぶ地域の関係をもっとも適切に表している組み合わせはどれか。

（ア） ロシア （イ） イギリス （ウ） フランス （エ） ドイツ （オ） 日本

① 膠州湾 ② 九竜半島 ③ 広州湾 ④ 旅順・大連 ⑤ 福建省

- a. （ア）-② （イ）-④ （ウ）-③ （エ）-⑤ （オ）-①
b. （ア）-③ （イ）-① （ウ）-④ （エ）-⑤ （オ）-②
c. （ア）-① （イ）-③ （ウ）-⑤ （エ）-② （オ）-④
d. （ア）-④ （イ）-② （ウ）-③ （エ）-① （オ）-⑤
e. （ア）-⑤ （イ）-④ （ウ）-① （エ）-② （オ）-③

IV 20世紀文明に関する次の問1～10について、各設問の指示通りに解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

問1 20世紀の哲学・思想に関する次の記述を読み、適切でないものを2つ選べ。

- a. サルトルは実存主義哲学者であり、不条理な存在である人間の真の姿を捉えようとした。
b. 社会や歴史を長期的に持続する構造・システムから見る理論・哲学である構造主義は、マックス・ヴェーバーらによって人類学の業績をもとに提起された。
c. 真理を人生に対する実用的価値としてとらえようとするデューイなどによるプラグマティズムは、アメリカ合衆国の合理主義を基礎づけた。
d. シュペングラーはドイツの歴史哲学者であり、資本主義社会の精神的破綻と第二次世界大戦の体験から、『西洋の没落』を発表した。
e. マルクス主義は、階級闘争の理論をもととする唯物史観に立脚する哲学・経済学である。

問2 20世紀の文学者とその著書の組み合わせの中で、適切なものを2つ選べ。

- a. プルースト —— 『失われた時を求めて』、『異邦人』
b. 魯迅 —— 『阿Q正伝』、『猿人日記』
c. カフカ —— 『審判』、『変身』
d. ヘミングウェイ —— 『誰がために鐘は鳴る』、『怒りの葡萄』
e. ロマン・ロラン —— 『魅せられた魂』、『ジャン・クリストフ』

問3 国連に関連した国際会議に関する次の記述を読み、適切でないものを2つ選べ。

- a. 1964年に第一回総会が開催された国連貿易開発会議は、発展途上国の経済発展を促進する仕組みを形成することを目的に設けられ、東西問題の解決を図ろうとした。
b. 1972年のユネスコ総会で採択された世界遺産条約は、国や民族をこえて普遍的な価値を持つ文化・自然遺産を登録し、人類の永遠の財産として保存することを決めた。
c. 1974年に開催された国連資源特別総会は、先進国の意思を反映する「新国際経済秩序樹立に関する宣言」を採択した。
d. 原水爆禁止を求める国際世論の高まりに押され、1978年、82年、88年の3回、国連軍縮特別総会が開催された。
e. 1995年に開催された国連社会開発サミットは、世界の貧困・雇用・社会統合の問題を解決するためには、国連や各国政府の力だけでは限界があり、「市民の参加が不可欠である」と宣言した。

問4 民間の国際的活動に関する次の記述を読み、適切でないものを1つ選べ。

- a. 「国境なき医師団」は、1971年にフランスで設立され、国境をこえて緊急に医療援助を必要としている場に医師を派遣する活動で知られている。
- b. アムネスティ・インターナショナルは、1961年に設立された民間の国際的人権擁護機関である。
- c. 1992年に開催された地球サミットには、NGOから多数の参加があった。
- d. 非政府組織は、人権、平和、医療、教育、女性の地位向上など、多様な分野で活躍する非営利の民間組織である。
- e. グリーンピースは、1970年代に緑の革命を推進した社会福祉団体である。

問5 科学技術に関する次の組み合わせの中で、適切でないものを2つ選べ。

- a. フレミング — ペニシリン
- b. レントゲン — 第1回のノーベル物理学賞の受賞
- c. カローザス — 集積回路の実用化
- d. ダイムラー — ロケットの開発
- e. フォード — 自動車の大量生産方式

問6 次の事項を年代順に適切に並べたものはどれか。

- ① アメリカ合衆国で、トランジスターが開発された。
 - ② ソ連が、スプートニク1号の打ち上げに成功した。
 - ③ ロンドン放送局が正式にテレビジョン放送をした。
 - ④ ワトソンとクリックがDNAの二重らせん構造を提唱した。
 - ⑤ アメリカ合衆国で、初のコンピューターが完成した。
- a. ①-⑤-②-④-③
 - b. ④-①-⑤-②-③
 - c. ③-⑤-①-④-②
 - d. ⑤-③-①-②-④
 - e. ③-④-⑤-①-②

問7 核兵器、原子力発電に関する次の記述を読み、適切でないものを1つ選べ。

- a. 原子力発電が1954年にソ連で実用化されたが、1986年に原子炉が爆発する事故が生じている。
- b. 原水爆禁止運動は、1954年の第五福竜丸事件を機に東京都杉並の主婦の運動から始まり、世界的運動に発展した。
- c. 1957年にソ連が開発した大陸間弾道弾は、大型核弾頭を搭載し、長距離を射程とするミサイルである。
- d. アメリカ合衆国が1945年7月に、核分裂反応を利用した原子爆弾を最初に開発した。
- e. ソ連が1952年11月に、核融合反応を利用した水素爆弾を最初に開発した。

問8 人口問題および地球環境問題に関する次の記述を読み、適切でないものを1つ選べ。

- a. 世界の人口は20世紀初頭には約16億人だったが、2000年代半ばにはほぼ4倍へと急増した。
- b. 冷蔵庫の冷却媒体などに用いられた水素によるオゾン層の破壊は、生態系に大きな影響を与えている。
- c. 人口増加の大部分は、発展途上国で起こっており、1人あたりの所得水準をいっそう低め、飢えや社会不安をましている。
- d. 地球温暖化は、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加が原因である。
- e. 工場の排煙や自動車の排気ガスは、酸性雨の原因となり、森林や歴史的建造物に被害を与えている。

問9 DDTなどの有機化合物の自然生態系への影響について警告した人物は誰か。

- a. モーリス・メルロ＝ポンティ
- b. ハーバート・スペンサー
- c. ユストゥス・フォン・リービヒ
- d. レイチェル・カーソン
- e. ロベルト・コッホ

問10 20世紀の音楽、映画、絵画に関する次の記述を読み、適切でないものを2つ選べ。

- a. マティスは、単純化された構図と豊かな色彩を特色とする野獣派の画家である。
- b. シケイロスらは、インディオたちの感性と社会主義思想を組み合わせた民衆的な表現手段として絵画運動を起こした。
- c. ピカソとブラックは超現実派を創始して、具象にとらわれない衝撃的な手法を使った。
- d. ビートルズは、1950年代の若者文化の象徴的な存在となり、新鮮なリズムと美しいメロディーにあふれた自作音楽を演奏した。
- e. チャップリンは、ユーモアと批判精神にあふれた作品を作り、その代表作は『独裁者』、『モダンタイムズ』である。

[以下余白]